



主力店舗 タカムラ ワイン&コーヒーロースターズ
○本社所在地：大阪府大阪市西区
○事業概要：小売業
○常時使用する従業員：92名
（グループ全体・2026年5月時点）
○現在の売上高：45億円
（グループ全体・2025年6月期）
○法人番号：8120001045173
○Web：https://takamuranet.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
松 誠

香りの記憶で人生を彩る

タカムラ・グループは、ワイン、コーヒー、フレグランスなどの香りを軸とした事業展開をしています。香りの記憶は、時空を越えて、過去の記憶を瞬時に呼び起こします。香りを通して、豊かな人生をつくり、人生に深く記憶される瞬間を作ります。その事が地域社会への貢献、従業員待遇面の改善に直結する為、私達は、年商100億円への挑戦を宣言します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2031年のグループ全体売上高100億円達成に向け、年率115%程度の成長を目指す。親会社の既存ビジネスであるワインと、コーヒーの売上伸張率を堅持しつつ、子会社の新規ビジネスであるフレグランス事業を成長の核とする。

課題

- ・コーヒーの販売量を増やす為には、設備などの先行投資が必要となるが、生産設備をフル稼働させるほど需要の喚起ができていない。
- ・ワインの販売量を増やす為には、売上に応じた十分な冷蔵保管スペースが必要だが、現在かなり手狭になっており、作業効率が落ちている。
- ・フレグランスビジネスを伸張させる為には、実店舗が必要だが、建築資材の高騰などの理由により実現が出来ていない。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・コーヒー事業製造設備の増強及び補完スペースの拡充。それによるOEMの受託の強化。
- ・ワイン冷蔵保管スペースの拡充により、規模の原理を活かしたセット商品の販売拡大。
- ・フレグランス事業のインターネット通販と実店舗のオムニチャネル化。

実施体制

- ・マンパワーで動く体制から、組織で動く体制に転換。
- ・誰でも容易に引継ぎが出来るような業務の平準化。
- ・DtoCモデルに、BtoBモデルを加え、全方位の販売体制を敷く。

売上高100億円実現の目標と課題

グループ売上高

